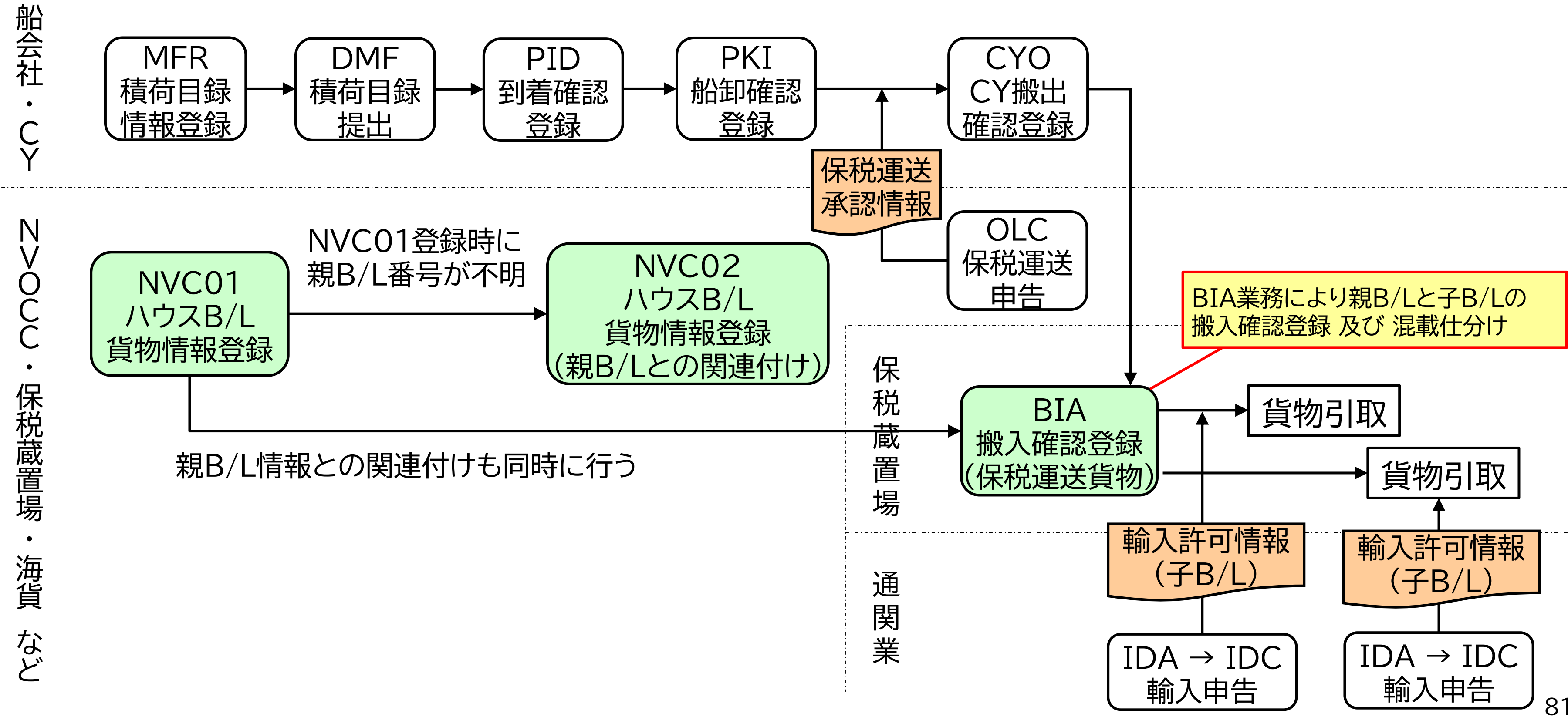


# 輸入混載貨物にかかる業務処理

# 輸入混載貨物フロー

(1) 親B/LのBIA業務前にNVC01(ハウスB/L貨物情報登録(登録・訂正・削除))業務・  
NVC02(ハウスB/L貨物情報登録(関連付け))業務をする場合



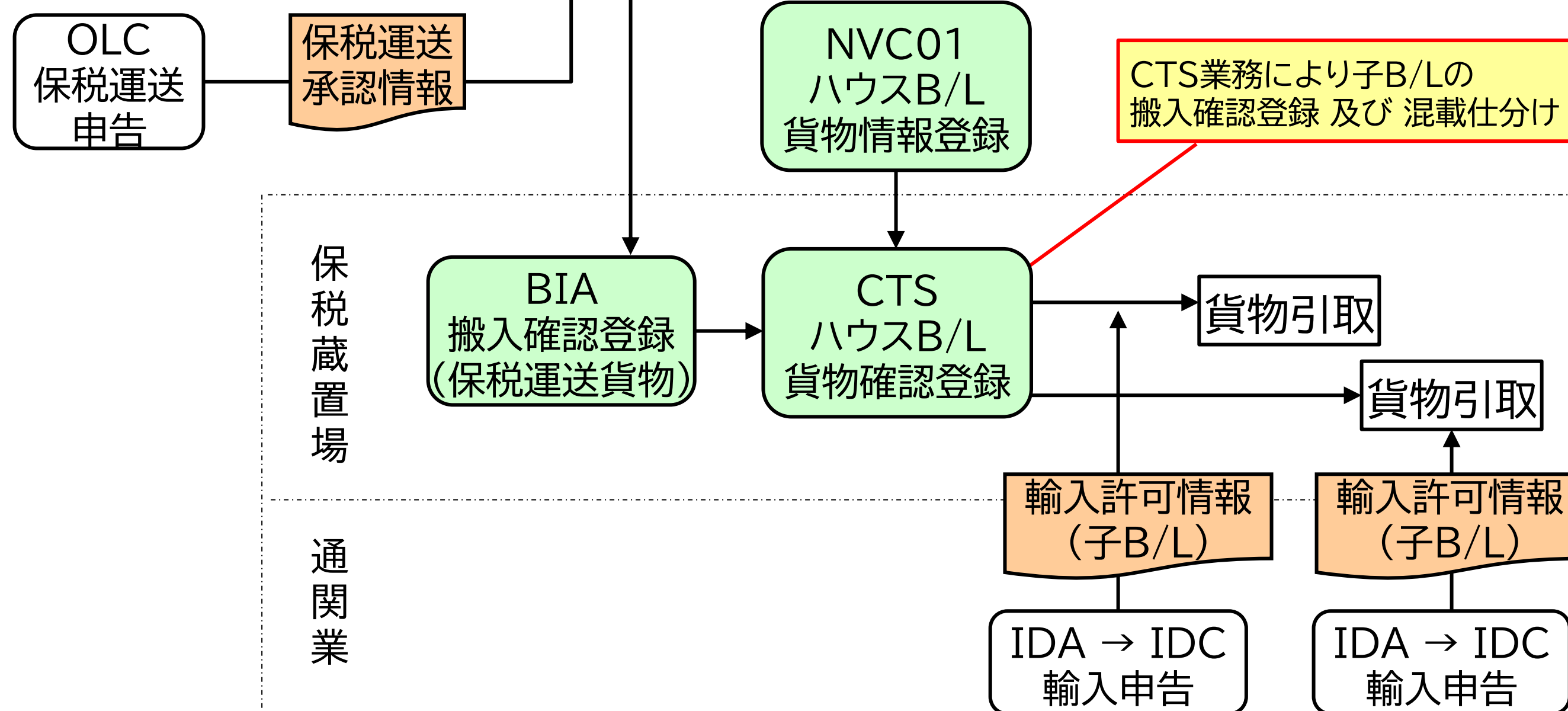
# 輸入混載貨物フロー

(2) 親B/LのBIA業務後にNVC01業務・NVC02業務をする場合

船会社・CY



NVOC・保税蔵置場・海貨など



# 輸入混載貨物にかかわる業務一覧

<b>NVC01</b> ハウスB/L貨物情報登録 (登録・訂正・削除) <b>NVC11</b> ハウスB/L貨物情報登録呼出し	NVC01業務は、通関業・海貨業・NVOCC 及び 保税蔵置場が行うことができます。 NVC01業務は、輸入混載貨物の情報をハウスB/L(混載子B/L)単位の登録を行います。 登録時に親B/Lと子B/Lとの関連付けも同時に行うことができます。 登録されたハウスB/L貨物情報を訂正・削除する場合は、NVC11業務により呼び出し、 NVC01業務によりハウスB/L貨物情報を訂正・削除を行います。
<b>NVC02</b> ハウスB/L貨物情報登録 (関連付け)	NVC01業務時に、親B/L番号が入手できていない等の理由で親B/Lと子B/Lの関連付けを行わなかった場合は、本業務により親B/Lと子B/Lの関連付けを行います。
<b>BIA</b> 搬入確認登録 (保税運送貨物)	本業務を行うことができるのは、貨物の搬入場所である保税蔵置場です。 NACCS参加保税地域から保税運送した貨物を保税蔵置場に搬入する場合は、BIA業務により搬入確認情報を登録します。親B/L番号による一括の搬入確認登録の他に子B/L毎の個別の搬入確認登録も可能です。
<b>CTS</b> ハウスB/L貨物確認登録	本業務を行うことができるのは、貨物の搬入場所である保税蔵置場です。 親B/LによるBIA業務が行われた後に、NVC01業務・NVC02業務により混載子B/Lの情報が登録される場合は、本業務により混載子B/L単位の搬入確認(混載仕分確認)を行います。
<b>INV</b> ハウスB/L貨物情報照会	ハウスB/L貨物情報を混載親B/L単位に照会します。

# NVC01:ハウスB/L貨物情報登録(登録・訂正・削除)

(1) 親B/Lと子B/Lとの関連付けも併せて、子B/L情報の登録を行う場合

NVC01業務 入力画面 (共通部)

共通部

繰返部

処理区分\*

9

(9 : 登録 5 : 訂正 1 : 削除)

マスターB/L番号

ONEY0ABC123456789

保税地域

1HE05

提出先官署

混載B/L番号を入力

混載仕分を行う保税地域コードを入力

仮陸揚の場合で、次に該当する場合は入力

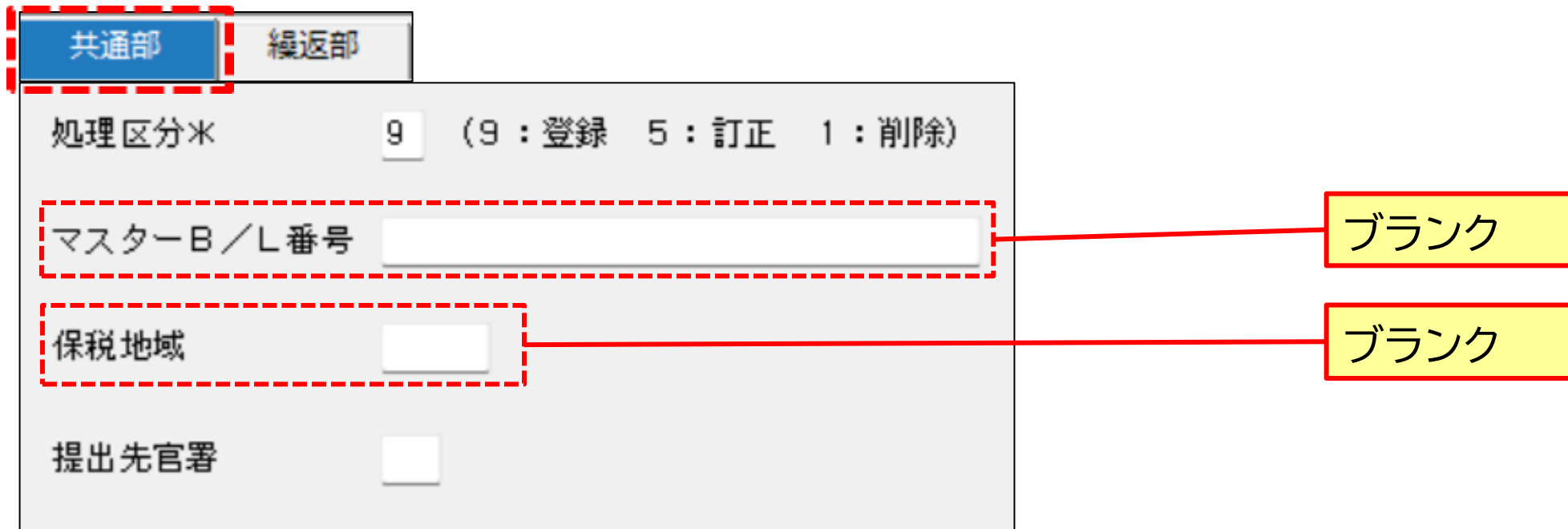
- 混載親B/Lの積荷目録提出先官署と異なる官署を仮陸揚届提出先に指定する場合
- 混載親B/Lの積荷目録情報が登録されていない場合

子B/L情報に仮陸揚貨物の保税運送を行う旨の登録がされるときには、子B/L情報の登録時に親B/Lとの関連付けをする必要があります。

# NVC01:ハウスB/L貨物情報登録(登録・訂正・削除)

(2) 親B/Lと子B/Lとの関連付けは行わず、子B/L情報の登録だけ行う場合

NVC01業務 入力画面 (共通部)



The screenshot shows the '共通部' (Common section) of the NVC01 input screen. It includes a tab for '共通部' and a '繰返部' (Repeat section). The '処理区分' (Processing category) is set to '9' (9:登録, 5:訂正, 1:削除). The 'マスターB/L番号' (Master B/L number) field is highlighted with a red dashed box and a red line pointing to a yellow box labeled '空白' (Blank). The '保税地域' (Bonded area) field is also highlighted with a red dashed box and a red line pointing to a yellow box labeled '空白' (Blank). The '提出先官署' (Submitting office) field is empty.

NVC01業務実施時に、親B/Lと子B/Lの関連付けを行わなかった場合は、別途NVC02業務により親B/Lと子B/Lの関連付けをする必要があります。

# NVC01:ハウスB/L貨物情報登録(登録・訂正・削除)



## NVC01業務 入力画面(繰返部上段)

共通部

繰返部

1

ハウスB/L番号

11AA1234567890

1

/20

品名

VEGETABLE PRODUCTS

最終仕向地

-

荷渡地

JPTYO

-

荷送人

名称

NACCS CHINA CO., LTD

999 SILVER STREET, SHANGHAI, CHINA

住所

住所 St.1

住所 St.2

City

Country-sub

Postcode

Country

電話番号

荷受人

名称

P005A5550000\_-

住所

住所 St.1

住所 St.2

City

Country-sub

Postcode

Country

電話番号

着荷通知先

(1)

P005A5550000\_-

住所

住所 St.1

住所 St.2

City

Country-sub

Postcode

Country

電話番号

着荷通知先

-

子B/Lの情報登録

- 2件目の子B/Lの入力画面へ移動
- 最大20件まで登録可

先頭4桁はハウスB/Lを発行したNVOCCの混載コード(\*)を入力

\*NACCS掲示板 > NACCS業務仕様・関連資料 > 業務コード集 > 「NACCS用船会社コード」で検索



# NVC01:ハウスB/L貨物情報登録(登録・訂正・削除)



## NVC01業務 入力画面 (繰返部下段)

(2)

住所

住所 St.1

St.2

Country-sub

電話番号

品目番号

記号番号

City

Postcode

Country

総重量

容積

個数

ネット重量

原産地

海上運賃

仮陸揚識別

仮陸揚事由

仮陸揚期間

価格

特殊貨物

運送予定期間

から

まで

運送具

到着地

他法令

1

2

3

4

5

記事

仮陸揚貨物の保税運送を申告する場合に入力

- 仮陸揚貨物の場合、親B/Lの搬入確認登録前に本業務にて親B/Lと子B/Lの関連付けを行い、併せて本業務にて保税運送申告をします。
- 親B/Lの搬入確認登録後は実施不可です。



# NVC02:ハウスB/L貨物情報登録(関連付け)

## NVC02業務 入力画面

処理区分\*

2 (2 : 関連付け 3 : 取消)

マスターB/L番号\*

ONEY0ABC123456789

保税地域

1HE05

提出先官署

ハウスB/L番号

01	11AA1234567890	02	11AA2345678901
03	11AA3456789012	04	11AA4567890123
05	11AA5678901234	06	
07		08	
09		10	
11		12	
13		14	
15		16	
17		18	
19		20	

2 : マスターB/LとハウスB/Lの関連付け  
3 : 関連付けの取消

仮陸揚の場合で、次に該当する場合は入力

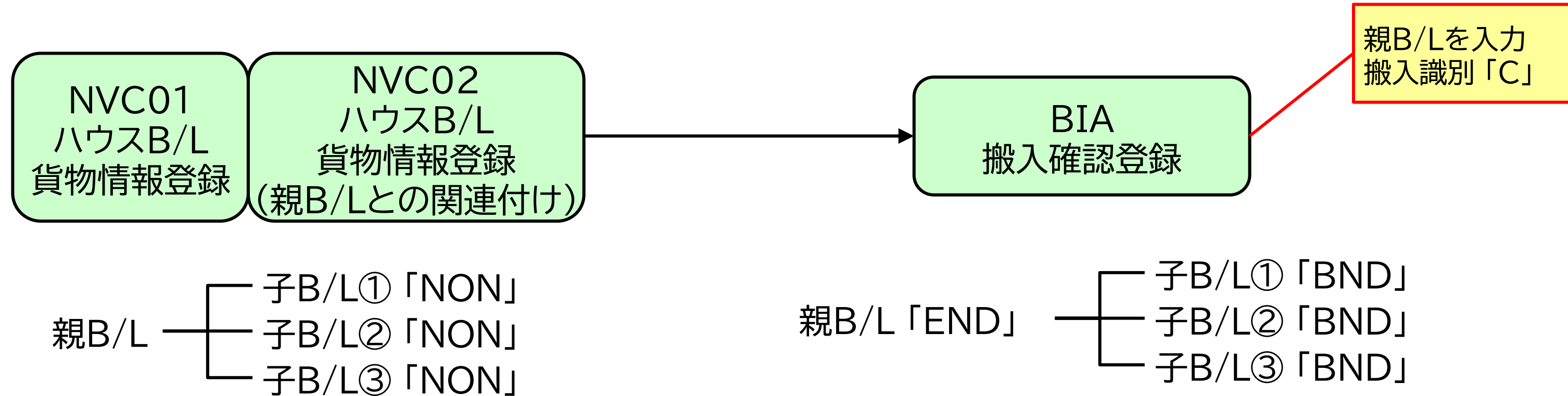
- 混載親B/Lの積荷目録提出先官署と異なる官署を仮陸揚届提出先に指定する場合
- 混載親B/Lの積荷目録情報が登録されていない場合

- NVC01業務にて既に親B/Lとの関連付けが行われている場合は、実施不要です。
- 子B/L情報の登録がされてから登録日を含めて20日経過しても親B/Lとの関連付けの登録が行われない場合は、子B/L情報はシステムから削除されます。

# 混載仕分のタイミングと搬入確認登録

(1) 親B/LのBIA業務前にNVC01業務・NVC02業務をする場合

① 親B/L一括で搬入確認登録する場合



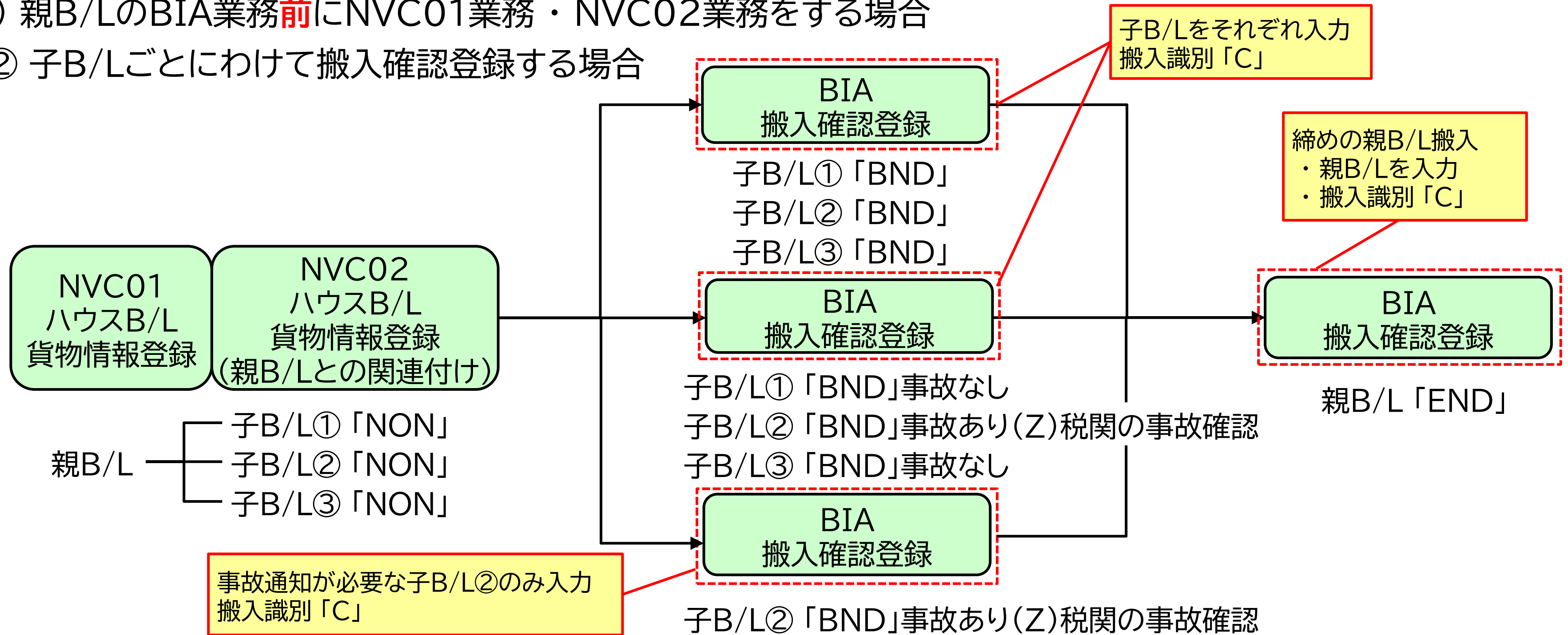
\*かぎカッコ内は、ICG業務で照会した際に表示される貨物状況

- ・「NON」未搬入
- ・「BND」未許可蔵置中
- ・「END」削除表示設定(混載仕分済)

# 混載仕分のタイミングと搬入確認登録

(1) 親B/LのBIA業務前にNVC01業務・NVC02業務をする場合

② 子B/Lごとにわけて搬入確認登録する場合



\*かぎカッコ内は、ICG業務で照会した際に表示される貨物状況

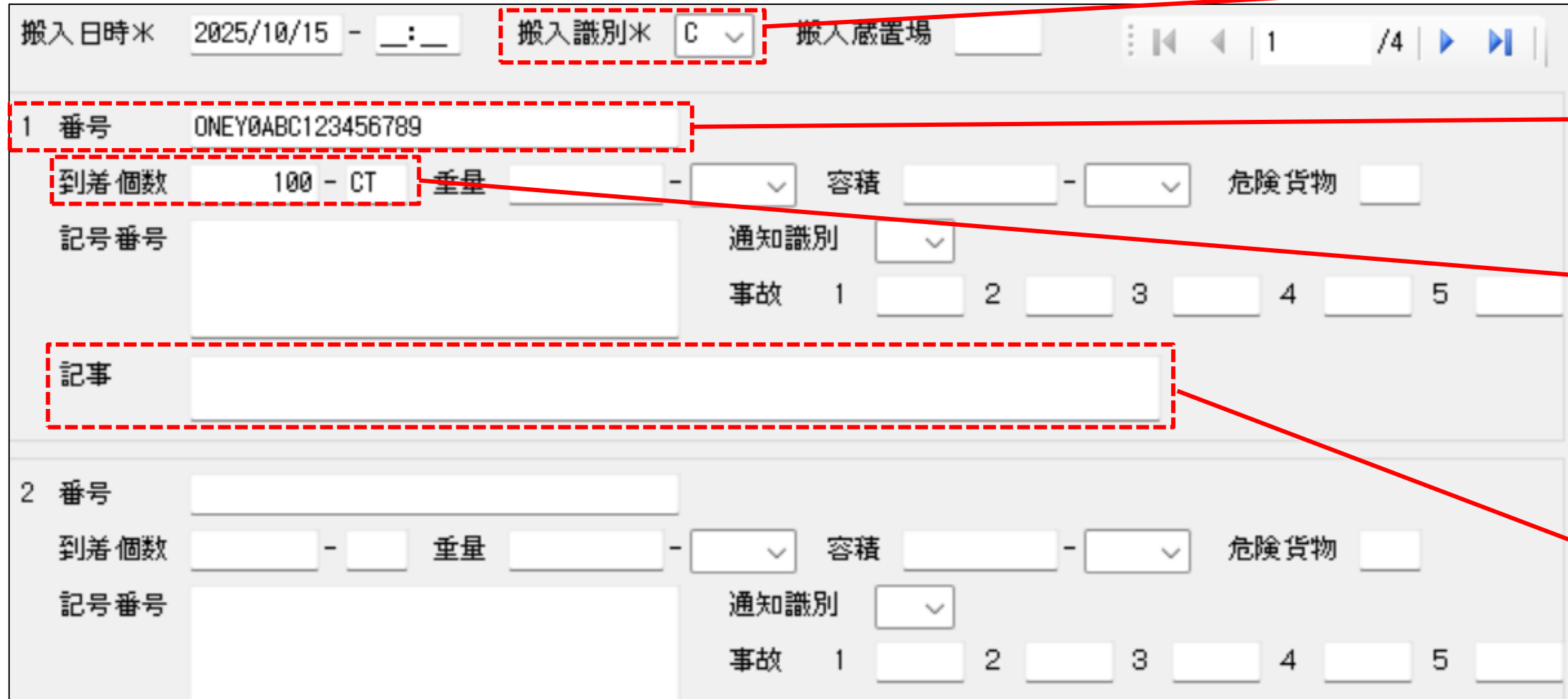
- ・「NON」未搬入
- ・「BND」未許可蔵置中
- ・「END」削除表示設定(混載仕分済)

# 混載仕分のタイミングと搬入確認登録

(1) 親B/LのBIA業務前にNVC01業務・NVC02業務をする場合

① 親B/L一括で搬入確認登録する場合

BIA業務 入力画面



「C(B/L単位による搬入確認)」を選択

親B/L番号を入力

搬入識別が「C」の時は必須入力

親B/L番号で一括して搬入確認登録を行う場合、記事欄を入力すると子B/Lの記事欄も上書きされる

- BIA業務は貨物の搬入先の保税蔵置場が行います。
- 親B/L番号を入力することにより、親B/L 及び 親B/Lに関連付けられた全ての子B/Lの搬入確認登録を一括して行うことができます。

# 混載仕分のタイミングと搬入確認登録

(1) 親B/LのBIA業務前にNVC01業務・NVC02業務をする場合

② 子B/Lごとにわけて搬入確認登録する場合

BIA業務 入力画面

搬入日時\* 2025/10/15 - \_\_: \_\_
搬入識別\* C
搬入蔵置場

1 番号 ONEY0ABC123456789

到着個数 100 - CT 重量 容積 危険貨物

記号番号 通知識別

事故 1 2 3 4 5

記事

2 番号 ONEY0DEF123456789

到着個数 999 - CT 重量 容積 危険貨物

記号番号 通知識別 Z

事故 1 SHORT 2 BROKN 3 4 5

記事

「C(B/L単位による搬入確認)」を選択

子B/L番号を入力

税関への通知を要する事故か否かを入力  
Z：税関への通知を要する事故  
M：税関への通知を要しない事故

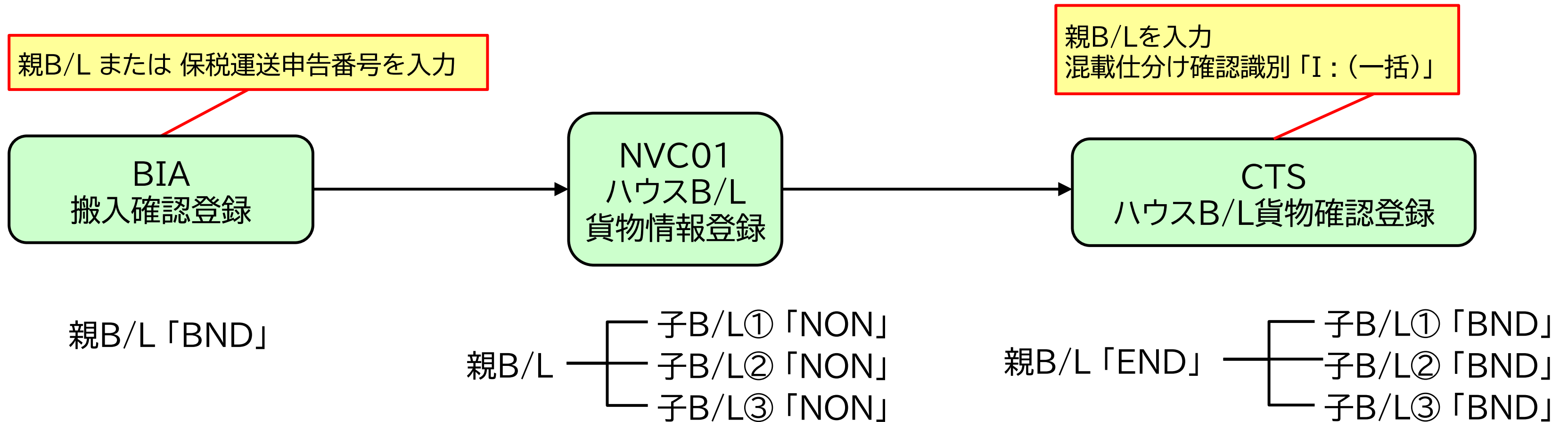
• OVERR(数量超過)  
• DENTE(へこみ)  
• BROKN(破損) など  
\* NACCS掲示板 > NACCS業務仕様・関連資料 > 業務コード集 > 「事故種別コード」参照

- 子B/L番号を入力することにより、子B/Lごとに搬入確認登録を行うことができます。その場合は、別途BIA業務にて親B/Lの搬入確認登録を行う必要があります。
- 子B/L単位と親B/L単位のBIA業務を連続して行うとシステム処理が正しく行われない可能性があります。子B/Lの登録後、数分経ってから親B/Lの登録をするようにしてください。
- 搬入確認時に事故(不足・破損等)があった場合は、子B/L番号単位でBIA業務を行います。
- 税関に事故通知(Z)をした場合、該当子B/Lの貨物情報は保留状態となり、税関でのDMC(事故確認登録)が必要となりますので税関にご連絡下さい。

# 混載仕分のタイミングと搬入確認登録

(2) 親B/LのBIA業務後にNVC01業務・NVC02業務をする場合

① 親B/L一括で搬入確認登録する場合



\*かぎカッコ内は、ICG業務で照会した際に表示される貨物状況

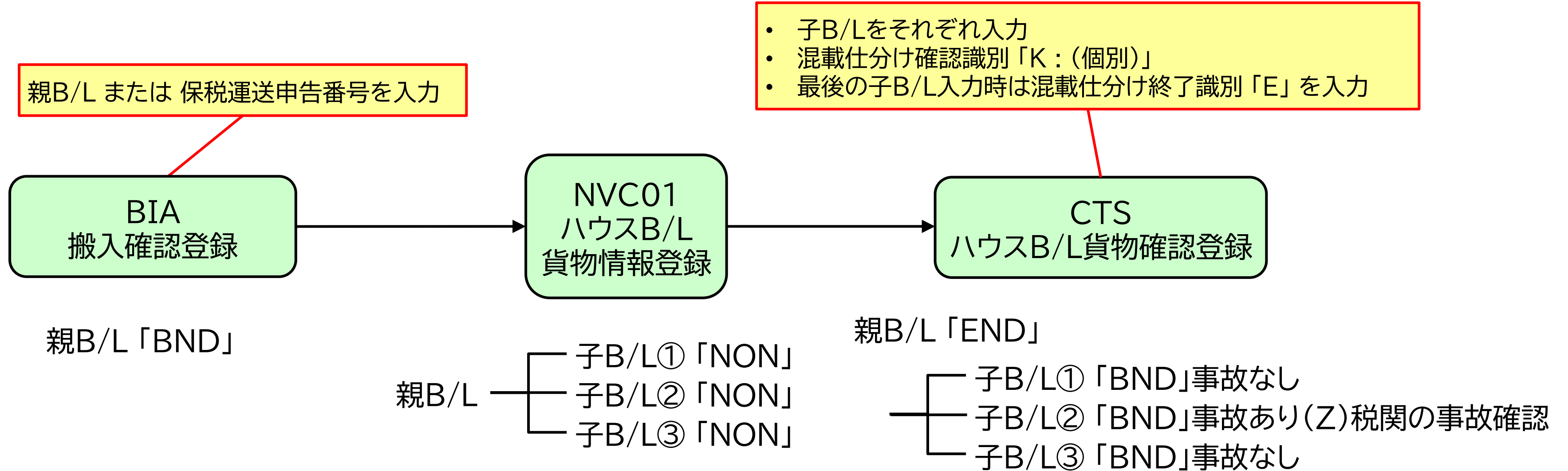
- ・「NON」未搬入
- ・「BND」未許可蔵置中
- ・「END」削除表示設定(混載仕分済)



# 混載仕分のタイミングと搬入確認登録

(2) 親B/LのBIA業務後にNVC01業務・NVC02業務をする場合

② 子B/Lごとにわけて搬入確認登録する場合



\*かぎカッコ内は、ICG業務で照会した際に表示される貨物状況

- ・「NON」未搬入
- ・「BND」未許可蔵置中
- ・「END」削除表示設定(混載仕分済)



# CTS:ハウスB/L貨物確認登録 \*親B/L番号単位



(2) 親B/LのBIA業務後にNVC01業務・NVC02業務をする場合

① 親B/L一括で搬入確認登録する場合

CTS業務 入力画面

混載仕分確認識別\*  (I : 一括混載仕分確認 K : 個別混載仕分確認)

混載仕分終了識別  (E : 全混載子の仕分終了時)

01 B/L番号

個数  -  重量  -

容積  -

危険貨物

記号番号

通知識別

事故 1  2  3  4  5

記事

02 B/L番号

個数  -  重量  -

容積  -

危険貨物

記号番号

通知識別

事故 1  2  3  4  5

記事

「I : 一括混載仕分確認を」入力

親B/L番号を入力(1件のみ入力可)

混載仕分確認識別が「I」のときは入力しない

本業務は、貨物の搬入先の保税蔵置場が行います。

# CTS:ハウスB/L貨物確認登録 \*親B/L番号単位



(2) 親B/LのBIA業務後にNVC01業務・NVC02業務をする場合

② 子B/Lごとになわけて搬入確認登録する場合

CTS業務 入力画面

混載仕分確認識別\* K (I : 一括混載仕分確認 K : 個別混載仕分確認)

混載仕分終了識別 E (E : 全混載子の仕分終了時)

01 B/L番号 ONEY0ABC123456789

個数  -  重量  -  容積  -  危険貨物 ☐

記号番号  通知識別

事故 1  2  3  4  5

記事

02 B/L番号 ONEY0DEF123456789

個数 99 - CT 重量 990 - KGM 容積  -  危険貨物 ☐

記号番号  通知識別 Z

事故 1 SHORT 2  3  4  5

記事

「K : 個別混載仕分確認」を入力

仕分終了時  
(最後の子B/Lに対してCTS業務を行うとき)には  
「E : 全混載子の仕分終了時」を入力

子B/L番号を入力(20件まで入力可)

貨物情報DBに登録されている情報を訂正する場合は入力

税関に事故通知(Z)をした場合、該当の子B/Lの貨物情報は保留状態となり、税関でのDMC(事故確認登録)が必要となりますので税関にご連絡下さい。

# NVC01/NVC02の訂正・取消・削除

		親B/LのBIA業務前	親B/LのBIA業務後	
			親B/Lの貨物状況「END」でない	親B/Lの貨物状況「END」
訂正	仕分保税地域のコードの訂正	NVC01業務「5：訂正」で保税地域コードを上書き *「処理区分」「親B/L番号」「仕分保税地域」のみ入力 *登録済の子B/Lに対して仮陸揚貨物の保税運送を行う旨が登録されている場合は、混載仕分場所は訂正不可	① 左に同じ ② 保税蔵置場がCTS業務を実施 *確認識別「I：一括混載仕分確認」	訂正不可(税関に相談)
	親B/L番号の訂正	① NVC02業務「3：取消し」で誤った親B/L番号との関連付けを取消し *「処理区分」「親B/L番号」「仕分保税地域」「子B/L番号」は必須入力 ② NVC02業務「2：関連付け」で正しい親B/L番号と関連付け *①での送信済電文を再利用すれば入力箇所が最小限	① 左に同じ ② 左に同じ ③ 保税蔵置場がCTS業務を実施 *確認識別「I：一括混載仕分確認」を選択し正しい親B/L番号を入力	訂正不可(税関に相談)
	子B/L番号の訂正	① NVC01業務「1：削除」 *入力箇所は削除する「子B/L番号」 *親B/Lとの関連付け後であれば「親B/L番号」も入力 ② NVC01業務「9：登録」で正しい子B/L番号を登録	訂正不可(税関に相談)	

# NVC01/NVC02の訂正・取消・削除



		親B/LのBIA(搬入確認登録)前	親B/LのBIA(搬入確認登録)後	
			親B/Lの貨物状況「END」でない	親B/Lの貨物状況「END」
訂正	子B/Lの登録内容の訂正	① NVC11業務で訂正が必要な子B/L情報を呼出し ② NVC01業務「5：訂正」で訂正箇所を上書き *親B/Lとの関連付け後であれば「親B/L番号」も入力	① 保税蔵置場がSAI11業務で該当する子B/L情報を呼出し ② SAI業務で訂正箇所を上書き訂正	
追加	子B/Lの追加	NVC01業務「9：登録」で子B/L情報を入力	① 左に同じ ② 保税蔵置場がCTS業務を実施	保税蔵置場が子B/L単位でBIB業務を実施
削除	子B/Lの削除	NVC01業務「1：削除」で削除する「子B/L番号」を入力 *親B/Lとの関連付け後であれば「親B/L番号」も入力	削除不可(税関に相談)	
登録	子B/Lに代って孫B/Lを登録	登録不可 *子B/Lの搬入確認登録前は、子B/Lを親とする混載貨物情報は登録不可	① 子B/Lを親としNVC01業務で孫B/Lを登録 ② 保税蔵置場がCTS業務を実施	

# INV:ハウスB/L貨物情報照会

## INV業務 入力画面

マスターB/L番号\*

## INV業務 結果（共通部）

マスターB/L情報を表示

共通部	繰返部
マスターB/L番号	<input type="text"/>
船舶	<input type="text"/> - <input type="text"/>
航海番号	<input type="text"/>
船会社	<input type="text"/>
船卸港	<input type="text"/> - <input type="text"/>
入港年月日	<input type="text"/> / <input type="text"/> / <input type="text"/>
CY	<input type="text"/>
船積港	<input type="text"/>
保税地域	<input type="text"/>
登録者	<input type="text"/>
混載親B/L搬入済表示	<input type="checkbox"/>

- 親B/Lが混載仕分けを行う保税地域等に搬入されているときは「Y」を表示
- 親B/L未搬入の場合は「blank」

- NVC01業務を行った利用者 または 混載仕分けを行う保税蔵置場は、本業務で混載親B/L番号に関連付けられた子B/L情報を照会できます。
- 混載子B/L情報に関連づけられた親B/L情報を調べるときは、ICG業務のTTL(全体情報)を利用します。

# INV:ハウスB/L貨物情報照会

## INV業務 結果（繰返部）

共通部

繰返部

1

ハウスB/L 番号

品名

最終仕向地

荷渡地

荷送人

名称

住所

住所 1

2

4

電話番号

荷受人

名称

1

20

3

Postcode

Country

個数

ネット重量

原産地

海上運賃

仮陸揚識別

運送予定期間

運送具

他法令

1

2

3

4

5

搬入済表示

記事

-

総重量

-

容積

-

特殊貨物

価格

-

仮陸揚事由

仮陸揚期間

/ / から / / まで

到着地

-

ハウスB/L情報を表示

- ハウスB/Lが混載仕分けを行う保税地域等に搬入されているときは「Y」を表示
- 未搬入の場合は「ブランク」